AudioComm®

取扱説明書 保証書付

AM ／ FM ラジオカセットレコーダー

型番： CAS-710Z　品番：07-8371

このたびは、AudioComm®
AM／FMラジオカセットレコーダーを
お買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
●本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損　●本製品のために費やした時間及び経費
●本製品を運用した結果もたらされた損害　●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より１年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
●保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
●保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

イヤホン及びロッドアンテナは消耗品につき、保証の対象外となります。故障や破損の場合は有料にて交換・修理となりますのでご了承ください。

保証書　持込修理　無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
（イ）使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
（ロ）お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
（ニ）消耗または摩耗した部品、付属品の交換
（ホ）本書のご提示がない場合
（ヘ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合（但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。）
（ト）本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
（チ）一般家庭用以外（例：業務用、または業務用に準ずる使用方法）で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	AM ／ FMラジオカセットレコーダー			★お買い上げ日：　年　月　日
型　番	CAS-710Z	品　番	07-8371	保証期間：本体1年間（お買い上げの日から）
お客様	★お名前　様 ★ご住所　〒　ー 電話　（　）			
修理メモ				
販売店	★住所　店名　電話　㊞			

（注）★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp
製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ
●通話料無料 0120-963-006　●携帯・IP・公衆電話からは 048-992-2735
電話受付 平日９：00～17：30 土曜９：00～17：00 日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ
電話受付 048-992-3970 平日９：00～17：00 土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-8371B

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって３段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。（左図の場合は「感電注意」が描かれています。）
○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。（左図の場合は「分解禁止」が描かれています。）
●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。（左図の場合は「ACアダプターをコンセントから抜く」が描かれています。）

⚠警告

使用禁止	**万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに使用を中止する。ACアダプター使用時は、ACアダプターをコンセントから抜く** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。
使用禁止	**万一、内部に水や異物などが入った場合は、使用を中止する。ACアダプター使用時は、ACアダプターをコンセントから抜く** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。
禁止	**分解、修理、改造しない** ●火災・感電の原因となります。
適合品を使う	**ACアダプターは必ず、本機の仕様に適合した製品を使う。海外でACアダプターにより使用したり、自動車・船舶などの直流DC電源に接続しない** ●破損や火傷、発煙、火災の原因となります。
接触禁止	**ACアダプター使用時に雷が鳴り始めたら、ACアダプター本体及びコードに触れない** ●感電のおそれがあります。
乾電池に注意	**乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する** ●乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
禁止	**台所や浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しない** ●火災や感電のおそれがあります。 **本機やACアダプターを毛布や敷物などで覆わない** ●熱で本機やACアダプターが変形したり、火災・感電の原因となります。 **車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない** ●交通事故の原因になります。 ●歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。

⚠注意

禁止	**ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所、振動の多いところに置かない** ●落下による故障やけがの原因となることがあります。 **窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない** ●故障の原因となることがあります。 **ほこりの多い場所に置かない** ●故障や火災・感電の原因となることがあります。 **落としたり、重いものを載せたりしない。また、本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない** ●故障や破損の原因になることがあります。
指を挟まれないように注意	**お子様がカセットドア内に手を入れないように注意する** ●けがの原因となることがあります。
アンテナをたたむ	**持ち運ぶときは、アンテナをたたむ** ●伸ばしたまま運ぶとアンテナが引っ掛かったり、当たったりなどしてけがの原因になることがあります。
禁止	**はじめからボリュームを上げすぎない** ●突然大きな音が出て、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。 **長時間、大音量で聴き続けない** ●周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。 **ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らない** ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグを持って抜いてください。 **お手入れの際には安全のため乾電池を取り外す。ACアダプター使用時は、ACアダプターをコンセントから抜く** ●感電の原因となることがあります。 **電磁波を発生させる機器（携帯電話、テレビ、モニターなど）に近づけない** ●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズの原因となります。 **スピーカーにクレジットカードなどの磁気カードを近づけない** ●磁気の影響でカードが使えなくなるおそれがあります。

乾電池を安全にお使いいただくために

乾電池の液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

警告	●火中への投入、加熱、分解をしない ●乾電池を幼児に触らせない ●ショートさせない ●新しい乾電池と使用した乾電池、種類の異なる乾電池（マンガンとアルカリ）を混ぜて使わない	注意	●⊕⊖の表示通りに入れる ●指定以外の乾電池を使わない ●使い切った乾電池はすぐに取り出す ●しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。●万一お子様が乾電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。●万一もれた液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。失明の原因となります。●使用済みの電池を廃棄するとき、自治体の条例などで決まりがある場合にはそれに従って廃棄してください。

お手入れのしかた

ヘッド部の清掃について

ヘッドやキャプスタン、ピンチローラーは長い間使っていると磁粉やゴミ、ほこりなどが付着して汚れてきます。汚れがひどくなると、音質が悪い、音が小さい、録音できない、前の音が消えないで残る、などの症状が出ます。定期的にヘッド部を清掃してください。

ヘッド部の清掃方法

カセットドアを開け、別売のクリーニングキッドでヘッドやピンチローラー、キャプスタンなどの汚れを拭き取ります。なお、内部についたクリーナー液が十分に乾いてからテープをセットしてください。

ヒントとご注意
●ヘッドの消磁を行うには市販の消磁器をお使いください。カセットタイプの消磁器をお使いになるときは、必ず再生ボタンのみを押し込んで消磁してください。詳しくはヘッド消磁器の説明書をご覧ください。
●本機の消去ヘッドはマグネットタイプになっていますので消磁しないでください。

キャビネットの清掃

●キャビネットや操作ボタンなどが汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後に乾拭きをしてください。
●**シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。**変質したり、塗料がはげることがあります。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

静電気に関するご注意

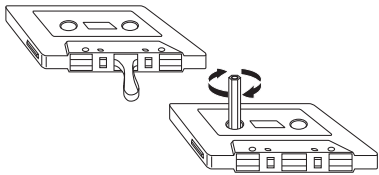
●空気が乾燥する時期にイヤホンを使うと、耳にぴりぴりと痛みを感じることがありますが、これはイヤホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、影響が軽減されます。
●動作・記録データなどに不具合が生じる場合があります。

著作権について

放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープ、コンパクトディスクなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲なども同じく、著作権法により保護されています。従ってそれらから録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

ご使用になる前に（カセットテープについて）

カセットテープの取扱上の注意点

●テープのたるみは、テープの巻きつきや切断の原因になります。テープがたるんでいないかどうかを確かめ、たるんでいる場合は図のように鉛筆などで必ず直してからご使用ください。
●カセットテープを入れたままにしたり、再生／録音状態のまま電源を切らないでください。テープが回転部分に密着したままになるので、からみや巻きつきの原因となります。テープは必ず取り出して保管してください。
●テープ動作中の早送り・巻戻し操作は、テープの巻きつきや故障の原因となることがあります。必ず停止ボタンを押し、動作を停止させてから行ってください。
●テープの損傷を避けるため、大切なテープやオリジナルテープは必ずダビングし、ダビングしたテープを本機でお使いください。
●エンドレステープは使用できません。

録音時の注意点

●ツメを折ってあるテープは録音ボタンの操作ができません。無理に押したりすると故障する場合もありますのでご注意ください。
●ノーマルテープ（TypeⅠ）をお使いください。ハイポジションテープ（TypeⅡ）やメタルテープ（TypeⅣ）には録音できません。また、ノーマルテープについてもC-60（60分テープ）までのテープを使用してください。C-60を超える長時間テープは通常のカセットテープに比べて非常に薄いため、伸びたり、回転部分に巻き込まれるなどのトラブルになりますので、ご使用はお薦めできません。
●カセットテープの両端にあるリーダーテープ部分（透明テープ部分）は録音ができません。録音前にこの部分を送っておきましょう。

大切な録音を消さないために

●保存しておきたいテープの場合、カセットのうしろ側にある「ツメ」を折っておくと、間違って大切な録音を消去せずにすみます。

●再び録音したい場合は、折ったツメの部分にセロハンテープなどを貼りつけて、穴をふさいでください。

各部の名称

前面

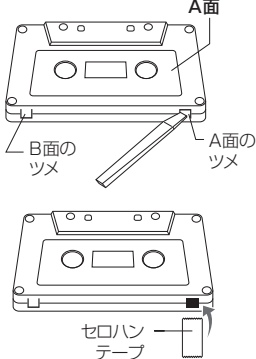
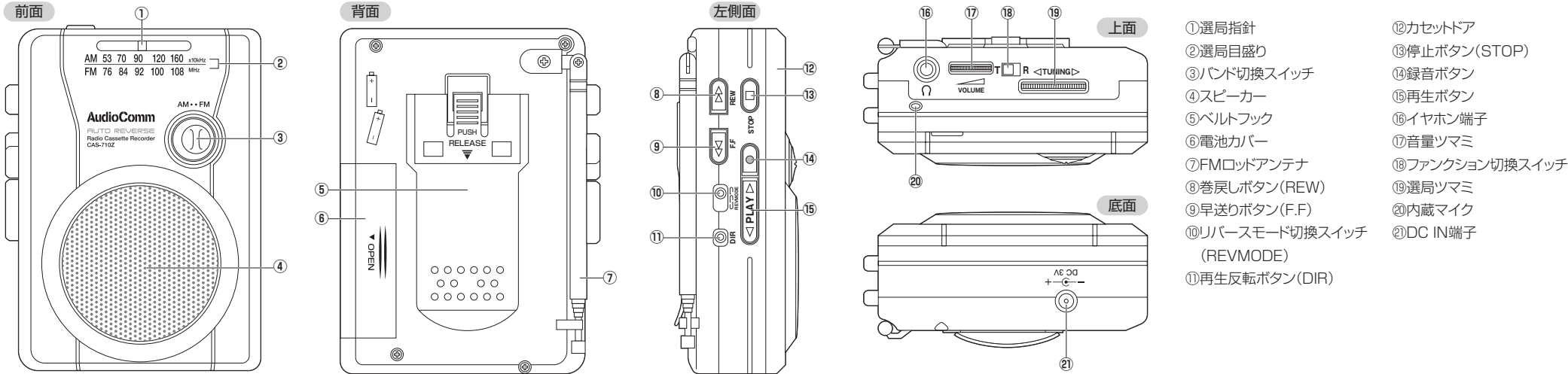
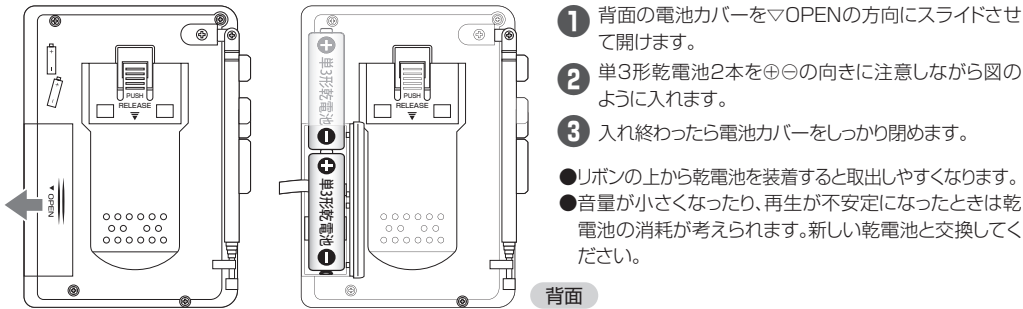
背面

左側面

上面 / 底面

①選局指針
②選局目盛り
③バンド切換スイッチ
④スピーカー
⑤ベルトフック
⑥電池カバー
⑦FMロッドアンテナ
⑧巻戻しボタン（REW）
⑨早送りボタン（F.F）
⑩リバースモード切換スイッチ（REVMODE）
⑪再生反転ボタン（DIR）
⑫カセットドア
⑬停止ボタン（STOP）
⑭録音ボタン
⑮再生ボタン
⑯イヤホン端子
⑰音量ツマミ
⑱ファンクション切換スイッチ
⑲選局ツマミ
⑳内蔵マイク
㉑DC IN端子

乾電池の入れかた

背面

❶ 背面の電池カバーを▽OPENの方向にスライドさせて開けます。
❷ 単3形乾電池2本を⊕⊖の向きに注意しながら図のように入れます。
❸ 入れ終わったら電池カバーをしっかり閉めます。

●リボンの上から乾電池を装着すると取出しやすくなります。
●音量が小さくなったり、再生が不安定になったときは乾電池の消耗が考えられます。新しい乾電池と交換してください。

イヤホンで聴くときは

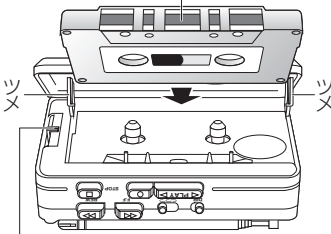
付属イヤホンのプラグ（φ3.5mmミニプラグ）を、上面のイヤホン端子に接続します。接続するとスピーカーからの音は出力されなくなります。

※ステレオイヤホン使用時でも音声はモノラルとなります。
※モノラルプラグタイプのイヤホンはご使用になれません。

ベルトフックの着脱方法

の部分を押しながら矢印の方向にスライドさせるとベルトフックを取り外すことができます。取り付けるときはフックのツメをフック穴に合わせて、矢印とは逆の方向にしっかりとスライドさせます。

カセットテープを聴く

カセットテープは下図のツメに合わせてカセットドア側にセットしてください。

●カセットテープ着脱時に、選局指針に触れないようご注意ください。
●本体とカセットドアに隙間が開いていたり、最後まで閉まらない場合は、カセットテープがきちんとセットされていません。もう一度カセットテープを出し入れし、正しく閉めてください。そのまま再生ボタンを押すと、ヘッドの故障や破損の原因になります。

❶ ファンクション切換スイッチを「T」（テープ）に合わせます。
❷ 本機のカセットドアを手で開け、カセットテープの聴きたい面をドア側に、テープが見えるほうを手前にしてセットします。セットし終えたらカセットドアを閉めます。
❸ 再生ボタンを押し込むと、再生が始まります。
❹ 音量ツマミで音量を調節します。
❺ 停止ボタンを押すと、再生を停止します。

各ボタンの機能

ボタン	機能	ボタン	機能
◁PLAY▷	再生を始めます	DIR	再生方向を反転します。
F.F	テープを早送りします。	REVMODE	両面を1回再生後に停止
REW	テープを巻戻します。		両面を繰り返し再生
STOP	再生を停止します。	●	録音を開始します。

●早送り、巻戻し中にテープエンドまで行ったときは、停止ボタンを押してください（そのままではボタンが戻りません）。
●早送り、巻戻しは常に正方向に対しての操作になります（反転再生時には巻戻し、早送り操作になります）。また、反転再生時に早送り、巻戻しを行うと、その後再生時には正方向の再生に戻ります。再生反転ボタンを押して再生方向を反転させてください。

ラジオを聴く

❶ ファンクション切換スイッチを「R」（ラジオ）に合わせます。
❷ バンド切換スイッチでAMまたはFMを選びます。
❸ 選局ツマミでお聴きになりたい放送局を受信します。
❹ 音量ツマミで音量を調節します。
❺ 終了するにはファンクション切換スイッチを「T」（テープ）に合わせます。

山間部や高い建物が立ち並ぶ場所、建物の内部などでは、電波が弱くラジオに雑音が入ったり、受信できない場合があります。電波がよく届く場所でご使用ください。

より良く受信するために

●**AM放送受信時**：最も良く聴こえるように本機の位置や向きを調節してください。
●**FM放送受信時**：FMロッドアンテナを伸ばし、アンテナの向きや角度を調節してください。

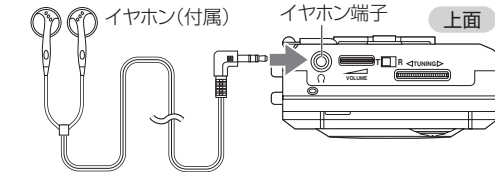
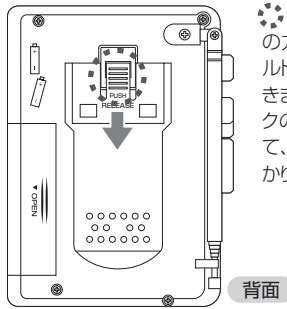
※FMロッドアンテナは回転しません。
※FMロッドアンテナに過剰な力を加えないでください。破損の原因となります。

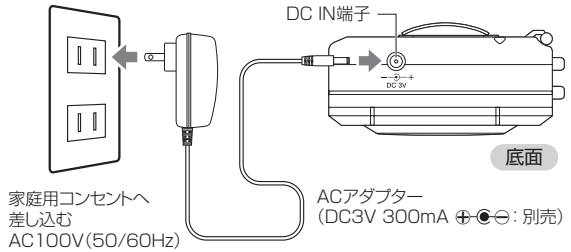
ラジオを録音する

❶ 本機のカセットドアを手で開け、カセットテープの録音したい面をドア側に、テープが見えるほうを手前にしてセットします。セットし終えたらカセットドアを閉めます。
❷ 「ラジオを聴く」の項を参照して、録音したい放送局を受信します。
❸ 録音ボタンを押すと、再生ボタンが同時に押し込まれ、録音が始まります。
❹ 録音を終了するときは停止ボタンを押します。
❺ 終了するにはファンクション切換スイッチを「T」（テープ）に合わせます。

内蔵マイクで周囲の音を録音する

❶ 本機のカセットドアを手で開け、カセットテープの録音したい面をドア側に、テープが見えるほうを手前にしてセットします。セットし終えたらカセットドアを閉めます。
❷ ファンクション切換スイッチを「T」（テープ）に合わせます。
❸ 録音ボタンを押すと、再生ボタンが同時に押し込まれ、録音が始まります。
※きれいに録音するため、音源との距離は20cm以内にしてください。
❹ 録音を終了するときは停止ボタンを押します。

●録音時はオートリバースは機能しません。片面ずつの録音となりますので、必要に応じてテープを取り出し、向きを変えて入れ直してください。
●ラジオを録音する場合、録音レベルを一定に調節する機能はありません。音量ツマミの操作により録音レベルが変わりますので、録音レベルを上げたい場合は音量自体を大きくしてください。深夜などで大きな音を出したくないときは、イヤホンを使うなどして対応してください。内蔵マイクでの録音の場合は、録音レベルは一定ですので、音量ツマミを操作しても録音に影響はありません。

家庭用コンセントで使うときは

本製品には、ACアダプターは付属しておりません。市販のACアダプター（DC3V　300mA ⊕◉⊖）を別途お買い求めの上、ご使用ください。
●ACアダプター（別売）を使って、本機のDC IN端子と家庭用コンセントを接続してください。
●ACアダプター使用時は乾電池を装着している場合でも、自動的にAC電源に切り換わります。
●本機を使用しないときは電源プラグをコンセントから外してください。

●ACアダプターは必ず、本機の仕様に適合した製品をお使いください。適合しない製品を使うと、機器の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。
●安定化回路内蔵式のACアダプターを使用すると、ラジオ受信時に雑音が入ることがあります。

主な仕様

項目	仕様		
電　源	DC3V（単3形乾電池×2本　別売）		
外部電源	ACアダプター：DC3V 300mA ⊕◉⊖（別売）		
スピーカー定格	0.5W　8Ω		
受信周波数	AM：530～1605kHz	FM：76～108MHz	
アンテナ	AM：フェライトバーアンテナ（内蔵）	FM：ロッドアンテナ	
乾電池での連続使用可能時間の目安※	**スピーカー出力時**／カセットテープ：約4時間	AMラジオ：約7時間	FMラジオ：約7時間
	イヤホン使用時／　カセットテープ：約5時間	AMラジオ：約8時間	FMラジオ：約8時間
外形寸法	幅91×高さ122×奥行46mm		
質　量	約245g（乾電池含まず）		
付属品	ステレオイヤホン（φ3.5mmステレオミニプラグ）、取扱説明書（保証書）		

※新品のアルカリ乾電池を使用した場合（音量：中程度）の目安。周囲の温度や使用状況、乾電池の種類により異なります。
※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。本書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

故障かなと思ったら

症状	チェック項目
動作しない	●乾電池が正しく入っていますか。　●乾電池が消耗していませんか。 ●（ACアダプター使用時）ACアダプターがはずれて（ゆるんで）いませんか。
音が出ない	●音量が最小になっていませんか。　●イヤホン端子にイヤホンが差し込まれていませんか。
カセットドアが閉まらない	●カセットが逆向きではありませんか。
テープが走行しない・不安定	●テープがたるんでいませんか。　●乾電池が消耗していませんか。
テープが機械に巻きつく	●ピンチローラーやキャプスタンが汚れていませんか。　●テープがたるんでいませんか。 ●カセットドアがきちんと閉まっていますか。
録音ボタンが押せない	●録音しようとするカセットの誤消去防止用のツメが折れていませんか。 ●カセットドアがきちんと閉まっていますか。　●カセットが入っていますか。
前の録音を完全に消去できない 録音した音がひずむ	●ハイポジション（TypeⅡ）やメタルポジションテープ（TypeⅣ）を使っていませんか。 ●消去ヘッドが汚れていませんか。
雑音がひどい、音が震える 音飛びがする、高音が出ない	●ヘッドやピンチローラー、キャプスタンが汚れていませんか。 ●テープがたるんでいませんか。　●乾電池が消耗していませんか。
テープへの録音ができない	●ヘッドが汚れていませんか。　●録音防止用のツメが折れていませんか。
ラジオが受信できない 雑音が入る	●音量が最小になっていませんか。 ●電波の弱いエリアであったり、近くにノイズを発する機器などがありませんか。 ●近くで携帯電話を使用していませんか（本機から携帯電話を離してご使用ください）。 ●蛍光灯の近くでAM放送を受信すると雑音が入ることがあります。本機を離してご使用ください。